ＦＡロボット事業の成長戦略

株式会社ダイヘン

２０２６．１１．２７

■事業の沿革





2017年～
EV充電ｼｽﾃﾑ



2003年～
再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ
関連機器



1986年～
半導体製造装置用
高周波電源



1973年～
超高圧変圧器



1919年～
柱上変圧器



1934年～
アーク溶接機





1980年～
アーク溶接ロボット

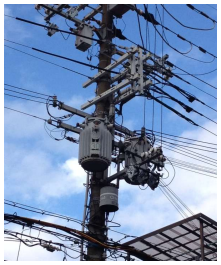


1989年～
クリーン搬送ロボット

当社ＦＡロボット事業は
アーク溶接ロボットからスタートした

■主要製品のシェア

柱上変圧器

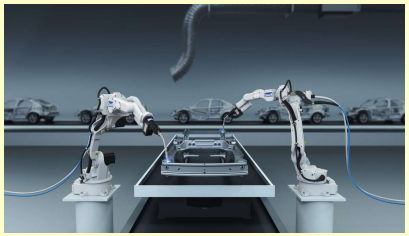




✓電力の安定供給を支える創業からの主力製品

シェア62%
国内No.1 ※1

アーク溶接ロボット



✓工場の自動化と溶接の高品質化に大きく貢献

シェア39%
国内No.1 ※2

シェア20%
世界No.1 ※4

アーク溶接機



✓自動車、造船、建機などにおいて、高能率と高品質な溶接が可能

シェア59%
国内No.1 ※2

シェア8%
世界No.4 ※3

半導体製造装置向け高周波電源



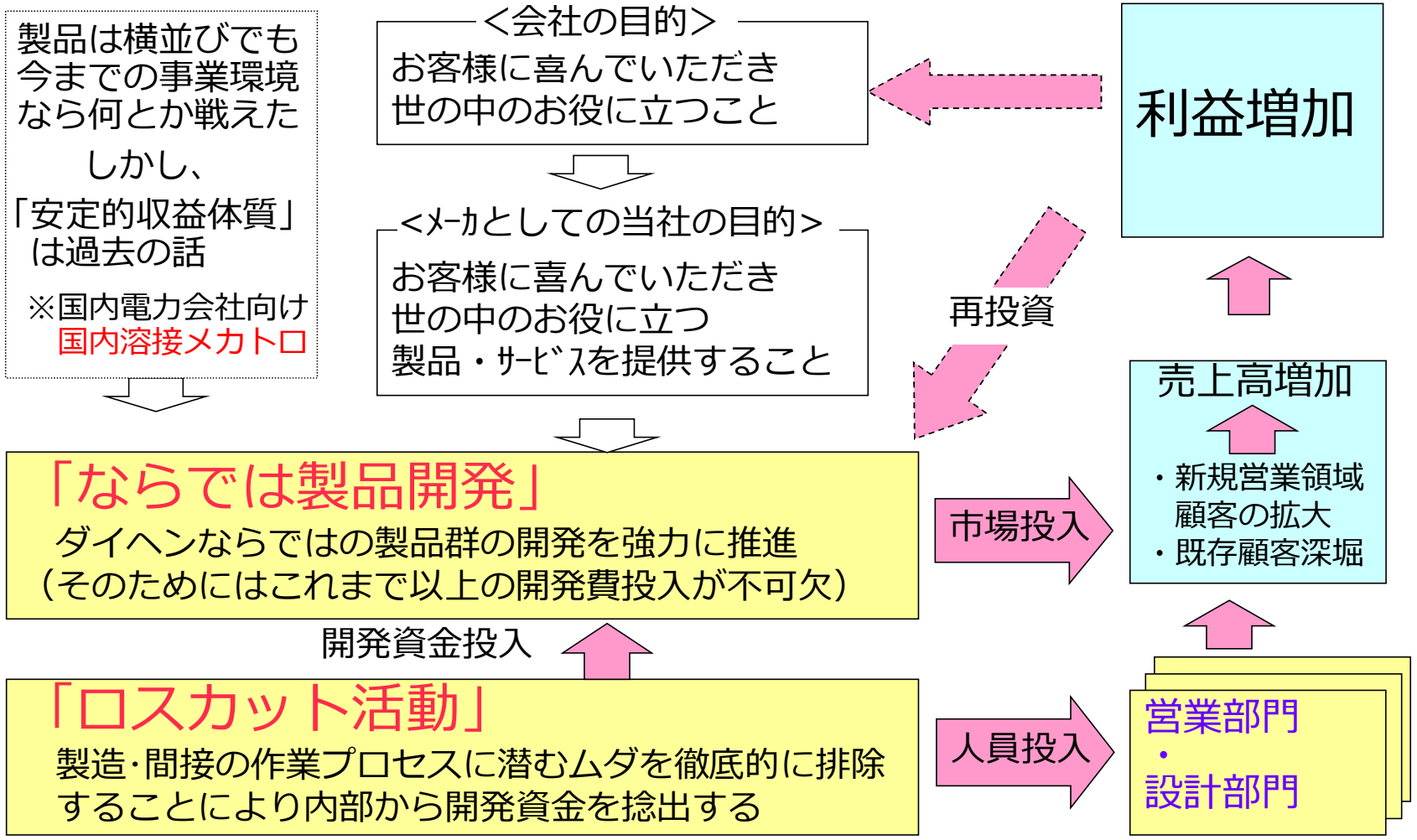
✓半導体デバイスの製造プロセスでの微細加工に貢献

シェア40%
国内No.1 ※5

シェア19%
世界No.3 ※5

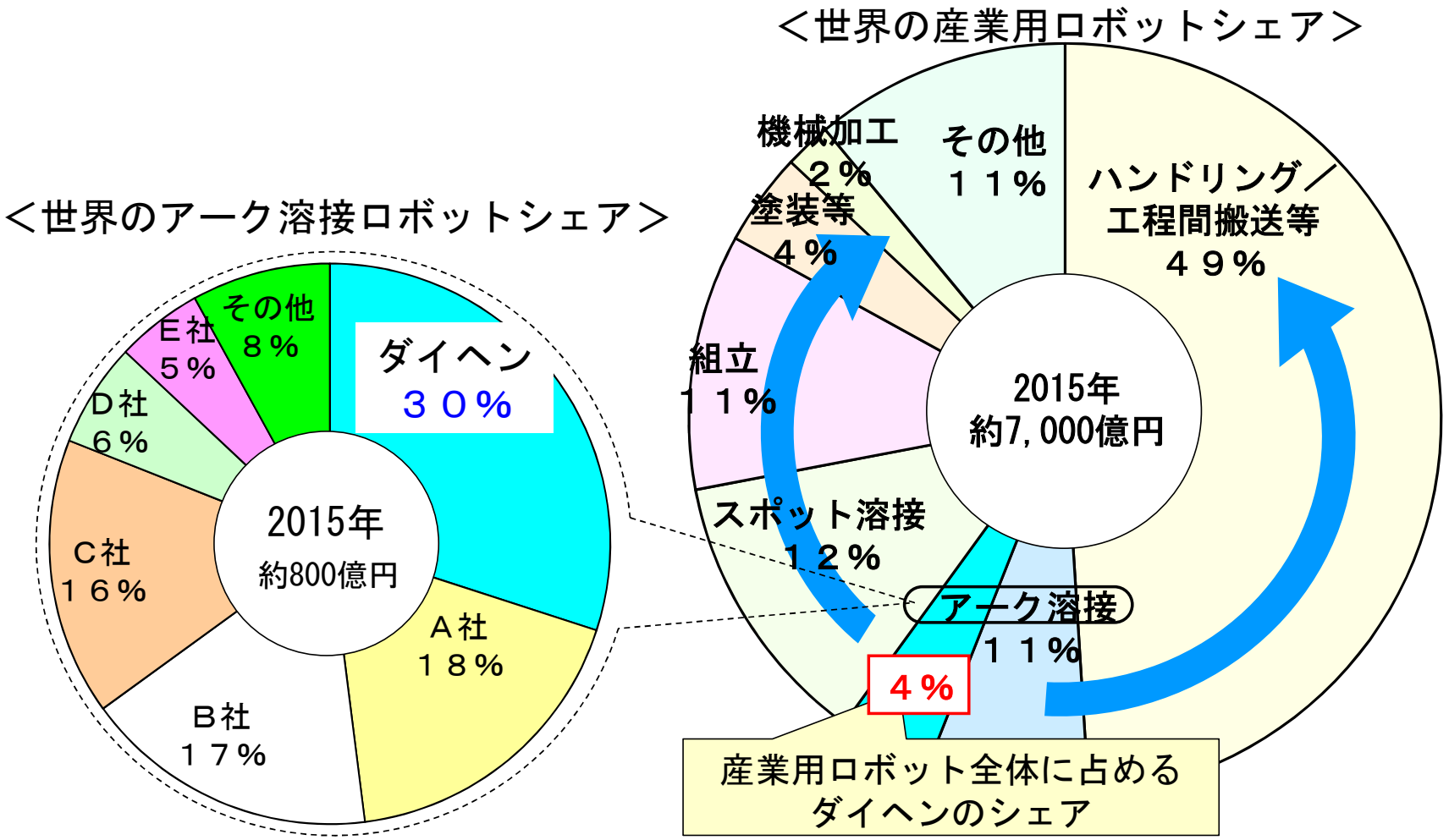
出所: ※1.JEMA統計データ及び当社独自調査による概算 ※2.新報㈱「ウェルディングMART2025」 ※3. ㈱富士経済データ及び当社独自調査による概算
※4.㈱富士経済「2025ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望」 ※5.グローバルネット㈱「世界半導体製造装置・試験/検査装置市場年鑑2024」

■ DAIHEN Value計画の骨子（2012年度～）



ＦＡ

アーク溶接・FPD搬送ロボットメーカーから総合ロボットメーカーへ



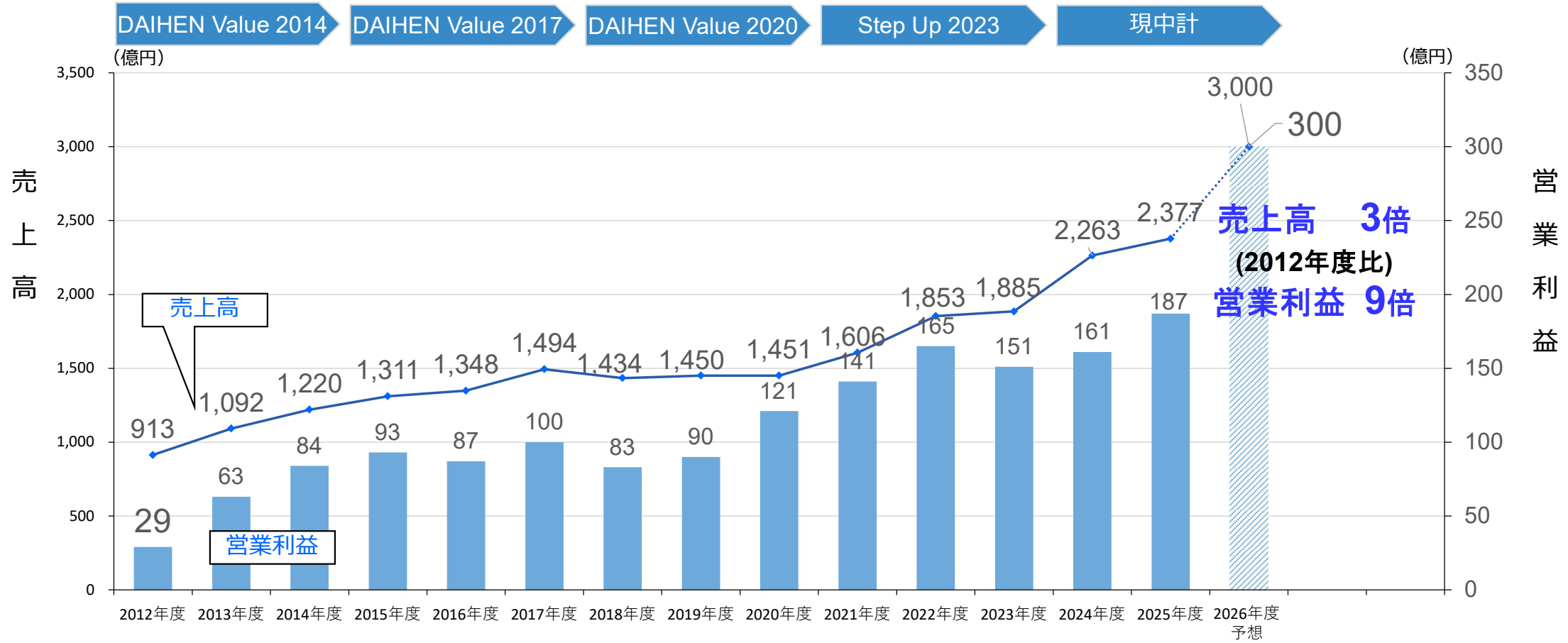
※2016年3月期決算説明会資料より転用

■アーク溶接・ＦＰＤ搬送ロボットメーカーから総合ロボットメーカーへ



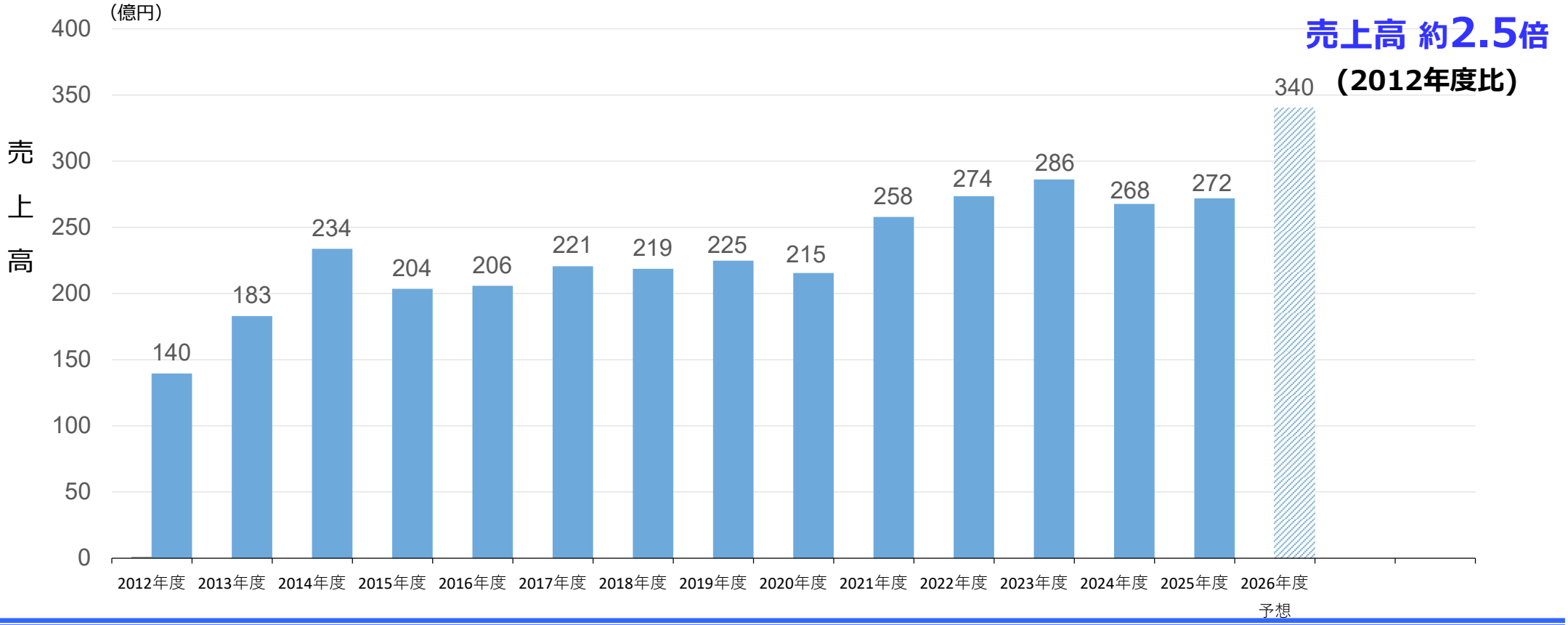
■業績推移（2012年度以降）

2012年度から「DAIHEN Value 計画」始動
当社独自の価値を持つ「ならでは製品」投入により業績を拡大



■FAロボット事業の業績推移（2012年度以降）

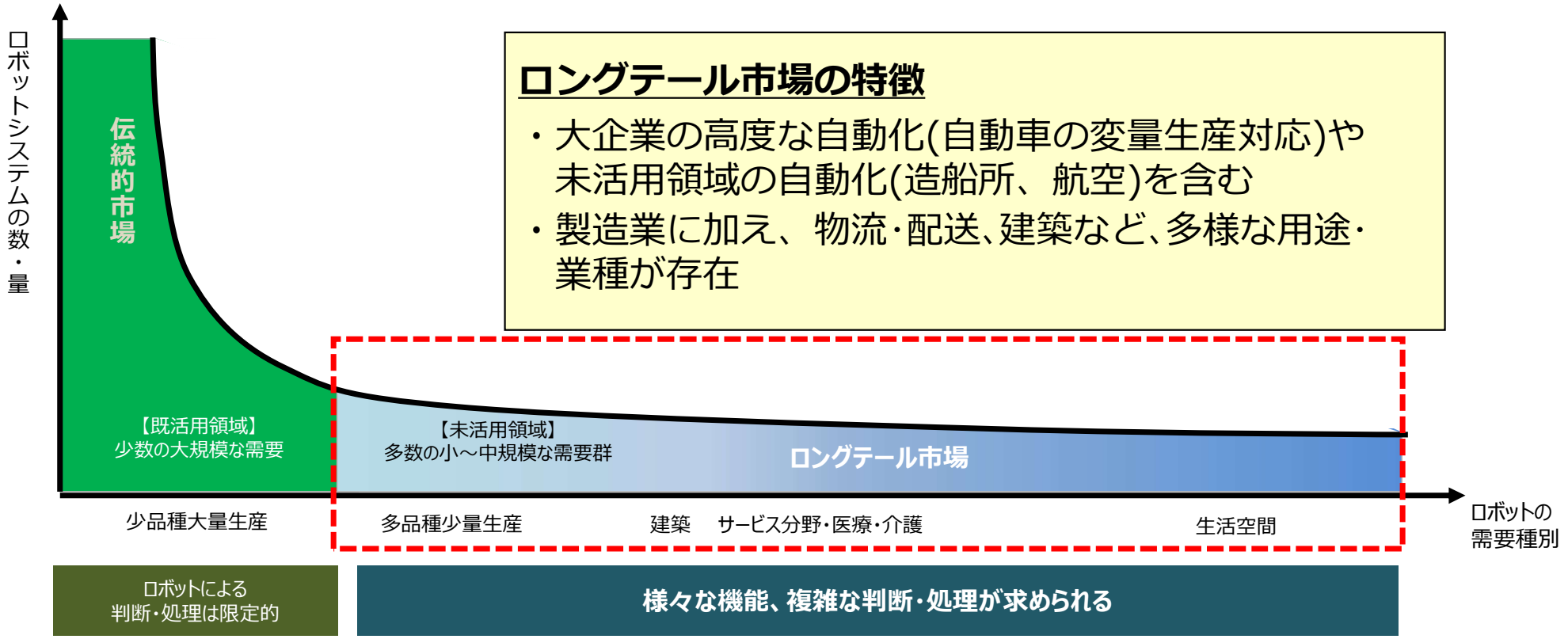
2012年度から「DAIHEN Value 計画」始動
システム志向で事業を拡大



売上高 約2.5倍
（2012年度比）

■ロボット市場の変化とニーズ

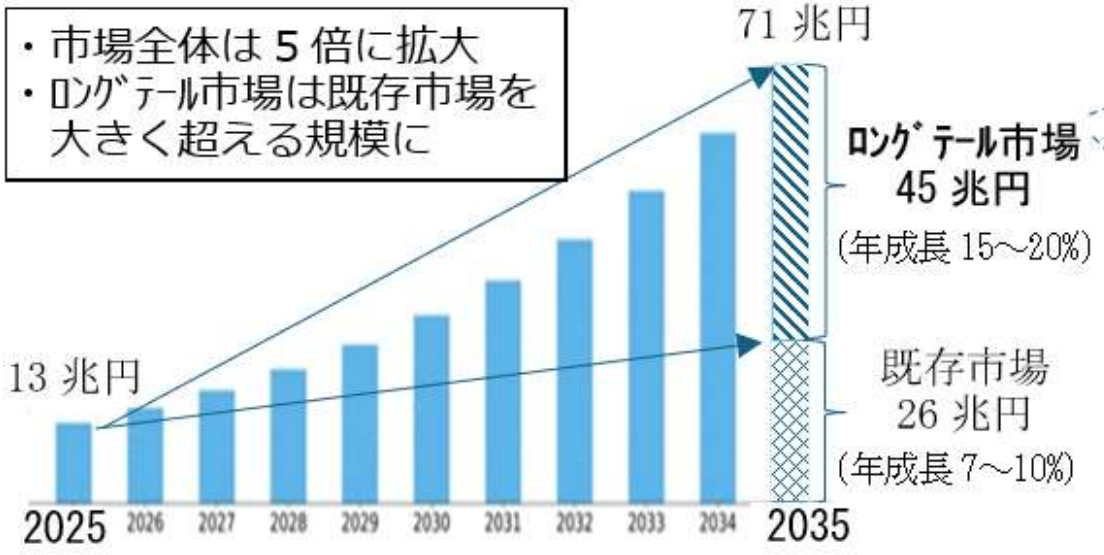
普及領域では少品種大量生産向けの効率化を、未活用領域では
多品種少量生産に向けたロボットの自律化・多能工化を求められる。

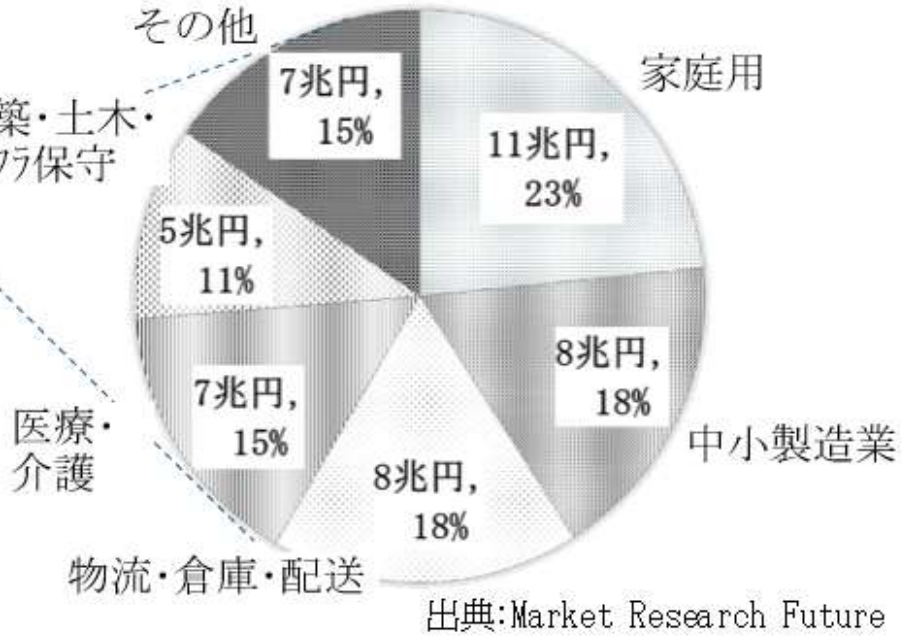


出典：経済産業省「我が国ロボット産業の基盤強化に向けた検討会資料より抜粋（2025年2月14日）

■ロボット市場規模の展望

全世界のロボット市場は10年後に70兆円規模に拡大、
ロングテール市場は45兆円(市場全体の63%)を占める。





出典:Market Research Future

■ ＦＡロボット事業のビジネスコンセプト

提供価値

初期負担を小さく	誰でも扱える	導入後も安心
低ｺｽﾄ・省ｽﾍﾟｰｽで導入	教示ﾚｽ・技能ﾚｽ運用	立上げから保守まで支援

事業成長に向けた取り組み

開発面

製品ﾗｲﾝﾅｯﾌﾟの拡充

- 仕上がりを指示するだけで動く ﾌｨｼﾞｶﾙAI
- 協働ﾛﾎﾞｯﾄ、搬送ﾛﾎﾞｯﾄ

販売面

ﾊﾟｰﾄﾅSIとの関係強化

- SIへの製作委託・特別ｲﾝｾﾝﾃｨﾌﾞを拡大
- 社内SIの余力を大手顧客攻略に再配分
- AI/ITを活用した問い合わせ等の効率化による営業支援

ｻｰﾋﾞｽ面

中小企業向けによりきめ細かなｻｰﾋﾞｽ充実

- ﾊﾟｰﾄﾅSIへのﾛﾎﾞｯﾄ保守ｻｰﾋﾞｽの委託
- 遠隔監視･診断を拡充し、迅速な復旧支援

事業成長の狙い

製品ラインナップ拡充×ＳＩ活用×サービス充実により、既存市場とロングテール市場の売上を拡大

■ビジネスコンセプトを体現する工場（六甲事業所）

組立工程

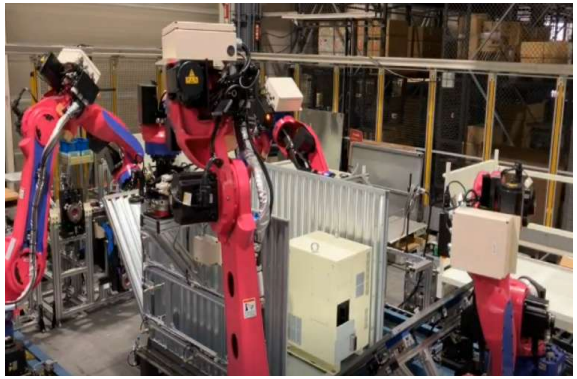




ロボット組立自動化
⇒組立の自動化率90%

工場内物流



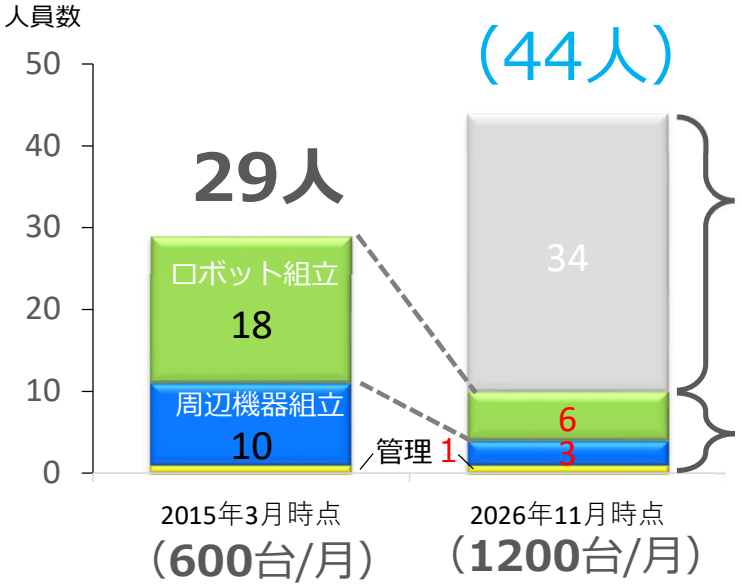


工程間搬送、梱包出荷工程および
AIによる検査の自動化
⇒工程内物流の自動化率85%

2029年度までにＦＡロボット生産完全自動化

自動化の効果①

大幅な生産性向上を実現するとともに、
社員を単純作業から解放し高付加価値業務へ



44人⇒10人

34人(77%)の削減効果

10人

生産台数:2倍
人員：1/3

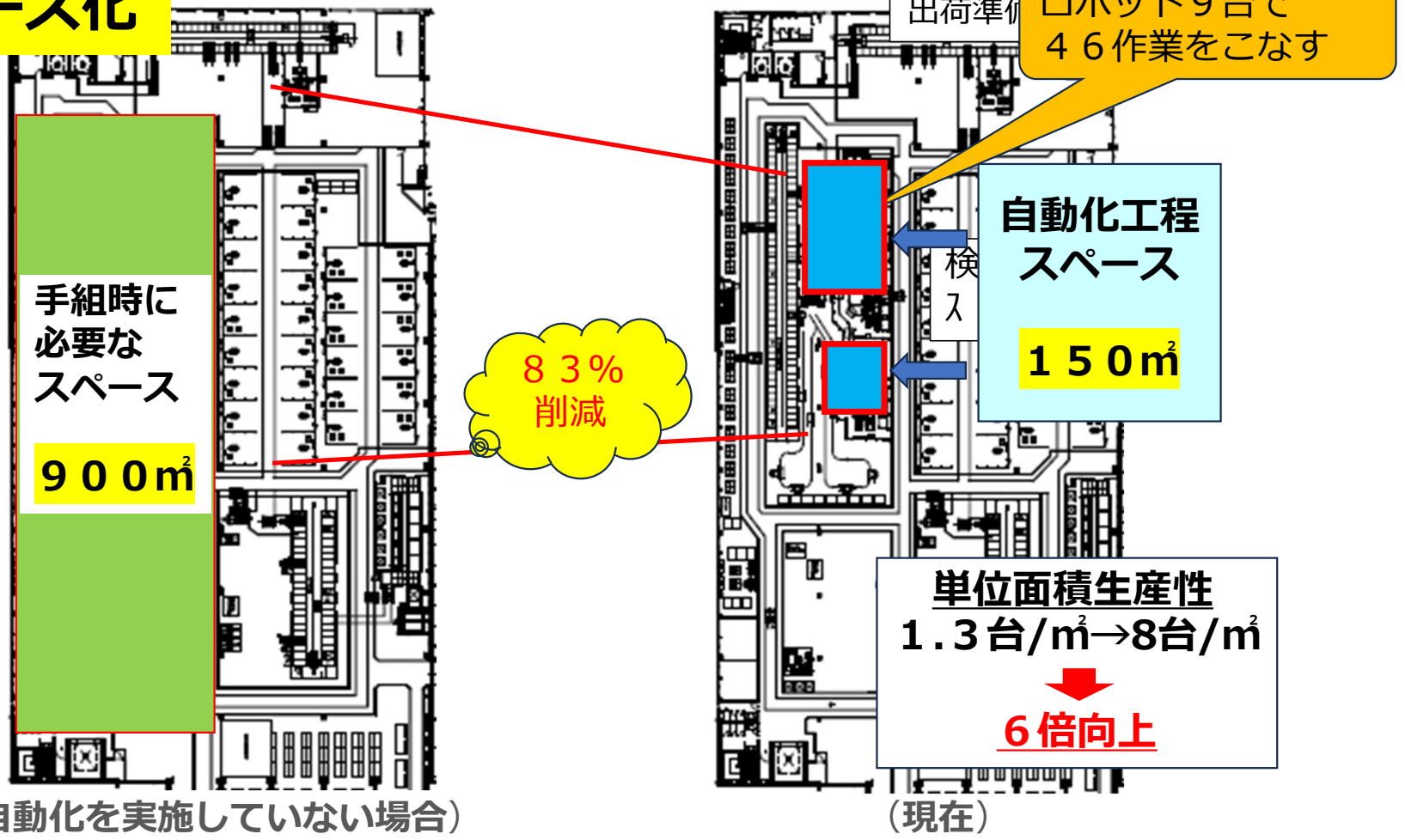
他業務シフト:19人
増員抑制:15人

人件費削減
年3億円以上

ロボット製造原価に占める人件費比率3～4%

自動化の効果②

省スペース化



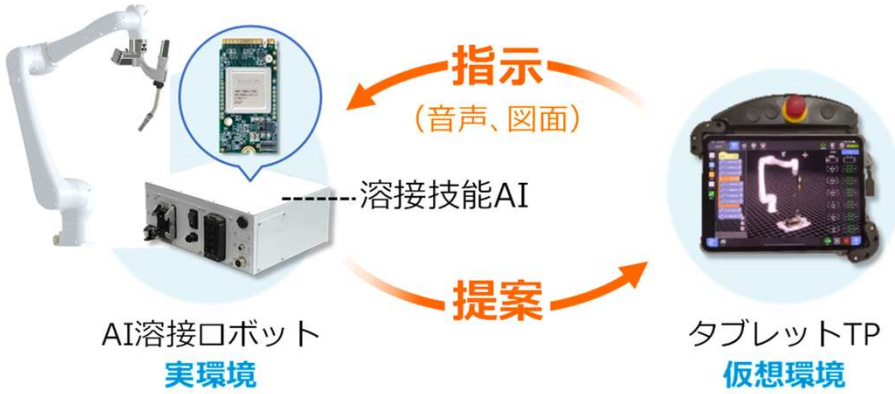
（自動化を実施していない場合）　（現在）

■製品開発の強化①　フィジカルＡＩの活用

溶接現場のフィジカルAI

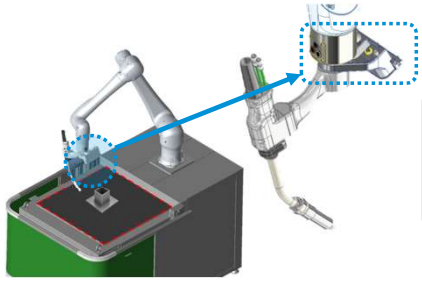
ダイヘンの**溶接ノウハウを結集**した
AI溶接ロボットで**多品種少量生産**の
溶接現場の熟練者不足解消に貢献する。

溶接現場のデジタルツイン



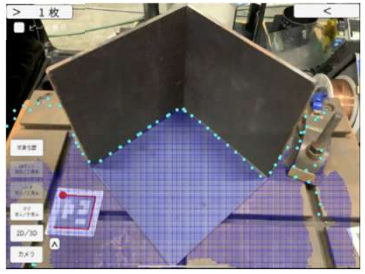
ロボットがワークを「見て」動作を自動生成し最適な溶接条件を提案！

1 ワーク設置して撮像



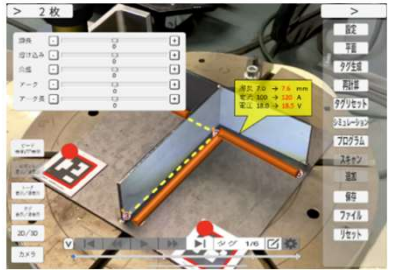
ロボットの手先カメラで
作業台上のワークを自動撮像

2 提案内容の確認



ロボットが溶接箇所を推測して提示
最適な溶接ビードをAR表示

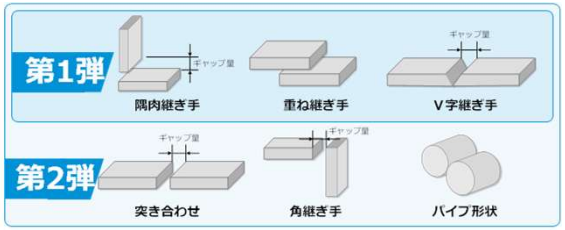
3 溶接指示



ロボット動作を確認できれば
溶接開始

対応する継手

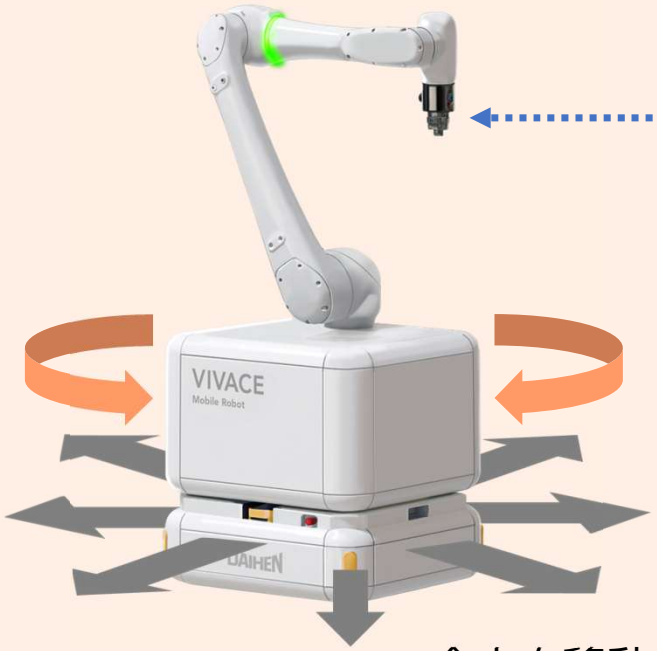
ワーク形状から溶接線候補を
AI自動認識



■製品開発の強化②　自走ロボットVIVACE（ヴィヴァーチェ）

部品の搬送と様々な作業をロボット１台で実現

システム全体の一体設計



全方向移動

ツールチェンジャー



＋

さまざまなツール



１つのタブレットＴＰで
走行とアームの統合操作が可能





単なる組み合わせでは2台の端末の使い分けが必要

■製品開発の強化③　半導体製造装置用搬送ロボットの市場投入加速

・PLPをはじめとする先端パッケージ分野の搬送ニーズに対応し、製品ラインアップを拡充

大気ロボット

・低振動、低床･高ストロークを実現し
　多様な装置レイアウトに適応
・世界最高クラスの可搬質量(20Kg)

⇒台湾市場で需要拡大
（26年度受注高30億円見込む）

「第56回　機械工業デザイン賞 IDEA」
日本ロボット工業会賞を受賞



500/600㎜パネル搬送

先端パッケージ向けEFEMシステム

・先端パッケージ市場の急成長を背景に、大型基板向け装置
　の需要が高まり、EFEM※の需要も増加する見通し
⇒ロボット単体の販売から、装置への搬送まで一括して
　提供するビジネスへ事業領域を拡大

【ロボットメーカならではの特長】
・ロボットに合わせた最適設計による高可搬と広範囲搬送
・システム筐体を合わせた制振制御による低振動搬送



2026年12月受注開始

SEMICON® JAPAN

※ EFEM(Equipment Front End Module)：外部から搬入された基板を受け取り人手を介さずにプロセス装置へ搬送するシステム

■営業面の取り組み①　造船業界の販売拡大

造船向け ロボットシステム 売上高目標

2026年度 10億円 ➡ 2030年度 50億円




デジタルサブマージ
溶接システム

【政策転換・市場機会】

政府主導で造船業界の再生を推進 ＜国土交通省「造船再生ロードマップ」より引用＞

船舶の年間建造量倍増 2035年 1,800万総トン（24年比倍増）

・施設・設備の整備による建造能力向上(約50%の建造能力向上)

・DXやﾛﾎﾞｯﾄ･AI技術を駆使し、建造ﾌﾟﾛｾｽ全体の生産性向上　(約25%の生産性向上)

自動化が進んでいない工程が多く、潜在需要も大きい

【当社の取組み】

・国交省のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄである「AIの活用による次世代型造船ﾛﾎﾞｯﾄ開発事業」に参画

・自走し、複数作業を行う「自走溶接ﾛﾎﾞｯﾄｼｽﾃﾑVIVACE」を造船向けに提案

■営業面の取り組み②　パートナーＳＩとの関係強化

定期的な業務委託を起点に信頼関係を築き、ともに成長するパートナーシップへ

関係強化の方向性

■安定的な業務委託
継続的な案件機会を通じて信頼を獲得

■オープンインターフェース
連携しやすい機能を提供し、販売･導入を後押し

■財務支援
事業運営を支え、パートナー基盤を強化

差別化ポイント

■作業ツール設定、制御ロジック自動生成ＡＩ提供

■ＳＩ向けインセンティブ制度導入

■サービス業務委託

信頼の構築 ➤ **ＳＩの販売･サービス向上** ➤ **顧客価値の拡大**

■営業面での取組み③　ロボット保守サービスの高度化

サービス提供体制

ＳＩへ保守を委託

地域に近いパートナーと連携し
中小顧客への対応を拡充
SIにとっても、事業拡大に

遠隔監視・診断

現場訪問に頼りすぎない迅速な
状況把握と初動対応

差別化ポイント

問い合わせ
音声認識

➤

内容確認
DB検索

➤

最適回答
自動選択･返答

消耗品・補修部品の発注から、操作・保守まであらゆる問い合わせに
「待ち時間ゼロ」で対応

■営業面での取組み④　－海外市場でのSIer機能の強化－

【欧州・米国SIerへの資本参加】

- **2020年　レーザシステムに強みを持つSIerラゾテック社を買収(欧州)**
- **2022年　中小規模システムに強みを持つSIerフェミテック社を買収(欧州)**
- **2023年　欧州溶接機・アーク溶接ロボット市場でトップシェアのローヒ社を買収(欧州)**
- **2023年　一般産業向け中規模カスタムシステムを得意とするSIerローラン社を買収(欧州)**
- **2024年　溶接治具やハンドリング用途での高い技術とシステム対案力を持つSIerフォースデザイン社を買収(米国)**

様々な特徴を持つSIerの買収を国内や北米へ展開

■将来予想に関する注意事項

・本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。

・なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 主要市場における経済情勢及び需要・市況の変動
- 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
- 為替相場の変動
- 原材料価格の相場変動
- 競争企業の製品･サービス、価格政策、M&Aなどの事業展開
- 弊社の提携等に関するパートナーの戦略変化